



◇ 今回は、松野みなみさん（大阪大学基礎工学部化学応用科学科）のレポートです！

こんにちは。私は2015年3月に関高校を卒業した、松野みなみと言います。現在、大阪大学基礎工学部化学応用科学科合成化学コースに所属する3回生です。私が通う大阪大学の魅力やサークル活動、大学受験に向けてどう頑張ったのかを少し書こうと思います。

大阪大学について

私はなぜ近くの名大でもなく、高みの京大でもなく、阪大に進学しようと思ったのでしょうか。理由はいろいろあるのですが、一番は私が昔からやりたいことをできる学科を見つけたからです。私は小学校の頃から化粧品や日用品の研究開発に携わる仕事に就くことを夢見てきました。それは今も変わりません。そして、高校で化学を学ぶうちに“合成化学を学びたい”と思うようになりました。もともと有機化学が好きだったので、高2の冬に志望校を固めました。

2つ目の理由は、狭い世間にとらわれたくないと思ったからです。これは私が卒業してから感じたことですが、関高校というのはいい意味でも悪い意味でも狭いです。いい意味では、先生方が生徒ひとりひとりを手厚くフォローしてくださります。いま私は高校生が通う塾でバイトしているので、よく高校生から話を聞きますが、進路情報や模試、補講など、関高は本当に親切だと感じます。悪い意味では、関高の中での自分がすべてだと思い込んでしまうことです。現に私も高3のときは関高内での模試の順位を気にしたりしていました。現役主義、国公立主義なのは素晴らしいことだと思います。が、私の所属する学科の同回生は、半分くらい浪人です。それくらい普通のことなのです。しかしそれは大学に入ってから知ったことです。このように、高校というのには本当に狭い世界なのです。私はもっと遠くに行きたいと高校生のころから思っていました。大阪に来てよかったと思っています。

あと、これはあんまり理由にならないかもしれませんが、関西弁を聞くのが好きだったという理由もあります。(笑)

サークル活動について

みなさんは“競技ダンス”というスポーツをご存知ですか？ 私は大学に入り、舞踏研究会という競技ダンスのサークルに入部しました。

(写真は試合の時の私です笑) 競技ダンスとは、簡単に言えば社交ダンスのスポーツ版といったところで、演技における技術や芸術要素を競うものです。最近はテレビやアニメで取り上げられることも多くなり、徐々に知名度をあげています。入学前は全く知らなかったのですが、新歓期に先輩方に誘われて見に行ったらすごく感動したのと、居心地がよかったことが決め手で入ることに決めました。競技ダンス界はとても奥深く、熱いです！機会がなければ知ることのないこの世界の魅力を教えてくださった先輩方には感謝しています。



競技ダンスのいいところは、大学から始める人がほとんどだということです。スタートラインが同じなので、初心者から学連チャンピオンになれたりするわけです。私の3つ上の阪大の先輩で、初心者から全国チャンプになった方もいます。競技ダンス部は多くの大学にあるので、機会があればぜひ入部してください。

私は中高とスポーツをしてこなかったのが、熱中できるスポーツに出会えたことが本当にうれしいです。サークルに限らず、大学生活にはいろんな機会が転がっていると思います。その機会を生かすも自由、殺すも自由です。みなさんも、大学生になったら自分が熱中できるものを見つけられるといいですね！

(これは七帝戦で東北大に行ったときの観光の写真です)



大学受験について

ここまで阪大に進学を決めた経緯や大学生活について書いてきましたが、これからは大学受験について少し書こうと思います。具体的に、志望校を固めてからどのような対策を始めたかといいますと、まずは志望校受験までおおまかな勉強のスケジュールを立てました。先述した通り、私は高2の冬に志望校を決め、高3の2月までにどのようなペースで勉強すれば志望校に合格することができるかという大まかな計画を練るわけです。

これはあくまで私が高3のときにやっていた勉強なので、参考程度で読んでほしいのですが、具体的には、春休み中に青チャート(ⅠA,ⅡB,Ⅲ)を1周、物理化学は重間を1周、英語はやっておきたい長文を1日1個必ず読むなどを実行に移しました。

新学期が始まれば、授業の予習復習に加え、チャートや重間を2周、3周目に取り掛かります。夏休みには、数学は1対1、化学は新演習、物理は名門の森、英語はやっておきたい英文など、阪大の入試レベルに必要なであろう難易度の教材に慣れておきます。秋になれば学校の授業でセンター対策をしていただけるので、二次重視の私は12月まで記述の勉強をします。英語は比較的得意だったので、このころから過去問や英作に取り掛かりました。ほかの科目は1対1とチャート、新演習と重間(苦手分野のみ)、名門の森を何周もします。12月になりようやくセンター一本に絞り、センターが終われば過去問や阪大模試の過去問を解きまくりました。

高2の冬から1年間どのような勉強をしたのか書きましたが、これはほぼすべて高2の冬に立てた計画通りです。私が合格することができたのは、高2の冬に阪大に合格するまでの学習計画を立てていたからだと言えるでしょう。つまり、私が言いたいのは、早めに目標と計画を立てるべきだということです。多少高めに目標を設定してもいいと思います。大事なものはスケジュールリングとモチベーションです。

みなさんが行きたい大学に進学し、素敵な大学生活を送れますように！